

宮城県のJAあさひなほこのほど、大和町立鶴巣小学校の3年生13人を招き、大和町で田んぼの生き物調査をした。児童を招いての調査は今年が初めて。ヤゴなどの水生生物を発見し、JA稲作指導員は「安全で安心な米作りの環境が保たれていることが確認できた」と強調した。

JAの稲作指導員、JA全農みやぎ、農薬メーカーの三井化学アグロ㈱の関係者らが参加。環境保全米を作付けしている水田で、生き物の採集などをした。同社の田口昌孝氏が生き物について解説した。
(宮城・あさひな)



生き物を採集する児童ら
(宮城県大和町で)